

様式第9(第5条関係)
(その1)



令和 7 年 11 月 12 日

新城市議会議長 様

氏名 齋藤 竜也

令和7年度政務活動費収支報告について

新城市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

令和7年度政務活動費収支報告書

氏名 齊藤 竜也

(会派にあつては、名称及び代表者氏名)

1 収入

政務活動費 100,000 円

2 支出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	114,185	東京往復¥18,945 鳥取往復¥35,240 宿泊13,000×4日 = ¥52,000 過疎シンポジウム ¥8,000
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	5,735	共同使用コピー機リース料コピー使用料 <u>5,735</u> 円
資 料 購 入 費	0	
合 計	119,920	

3 残 額

0 円

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

斉藤竜也議員研修行程表

7月30日	7月31日	8月1日
<p>16:51 豊橋発 JR新幹線ひかり656号</p> <p>18:05 品川着</p> <p>ロワジールホテル品川シーサイド チェックイン</p> <p>時間未定 「関係者情報交換会参加」</p>	<p>9:52 品川シーサイド発 りんかい線</p> <p>10:00 国際展示場着</p> <p>10:10 徒歩 東京ビッグサイト着</p> <p>SPORTEC展示会視察</p> <p>セミナー受講</p> <p>17:00 初日視察終了</p> <p>時間未定 ロワジールホテル品川シーサイド 2泊目</p>	<p>9:52 品川シーサイド発 りんかい線</p> <p>10:00 国際展示場着</p> <p>10:10 徒歩 東京ビッグサイト着</p> <p>SPORTEC展示会視察</p> <p>セミナー受講</p> <p>【帰路】</p> <p>15:55 国際展示場発</p> <p>16:18 大崎発</p> <p>16:40 品川発</p> <p>JR新幹線ひかり651号</p> <p>17:53 豊橋着</p> <p>自家用車帰宅</p>

視察研修報告書

7. 8. 29

新城市議会議員 齊藤竜也

【参加研修】 SPORTEC2025

【参加目的】 部活動の地域移行、公共施設の適正配置、スポーツ庁の取り組みと自治体の施策を学ぶ

【日程】

7/30(水) 現地入り 18:30～会合、意見交換会に参加 ※無料

7/31(木) セミナー受講

「現場最前線！部活動地域クラブ展開の現状と今後の課題に切り込む！」

「人生100年時代、運動・スポーツを通じてライフパフォーマンスを高めよう！～官・学協会の連携した取り組み」

「大学スポーツで創る持続可能な社会：共創と還元による教育・研究・ビジネス連携モデル」

8/1(金) セミナー受講

「アクティブライフ共創コンソーシアム全体シンポジウム「アクティブライフ」社会の実現に向けて～如何にして民間企業・自治体と社会に役立つ仕組みを作っていくか～」

※全日程 展示会の見学

7/30(水) 【交流会】

- ① 小中学校の水泳の授業を業務委託する企業の方々との意見交換。
- ② 自治体の地域包括ケアに参入している民間企業の担当者との意見交換

今後新城市や北設楽郡で応用できる部分や、苦勞した点、現状の課題を共有できました。行政からの財源の確保と市民満足と企業利益が3方良しとするためには国の助けを借りつつ持続可能な事業計画がポイントでそれが最も難しい。行政が市民の健康や教育に関して「やりっぱなし」にならないよう本気で取り組む必要があるため、私もより具体的な提案にしていかないと誰も動かないだろうと感じました。良いところは参考にしつつ、うまく仕組みづくりを新城オリジナルにしていきます。

7/31(木) 【セミナー受講】

- ① 「現場最前線！部活動地域クラブ展開の現状と今後の課題に切り込む！」

新城クラブ（仮称）に向けた動き、シスタースクール制度など、新城市も遅れながらも取り組んでいるものの、やはり行政の本気度が重要であることは再認識しました。千葉市、柏市は教育委員会の保健体育課が最後まで本気で仕組みづくりに尽力している。だからこそ行政主導でありながら部活動の地域移行が紆余曲折ありながらも進んでいる印象でした。そのあたりは登壇者にも直接質問し、「進め方」「スタートの仕方」「市長や教育長の認識」などは慎重というよりも「思い切った施策」にチャレンジすることが必要で、新城市にはまさにその「リーダーシップ」が欠けているよう

に感じました。

② 「人生 100 年時代、運動・スポーツを通じてライフパフォーマンスを高めよう！～官・学協会の連携した取り組み」

昨年は室伏長官の講義を聞き、リーダーの向かう道を確認。本年度はその先の現場や長官以下職員の本気度が見ればと思い参加しました。仕組みはできていてもスポーツ庁は「準備して待っている」状態。国民の健康、子供たちの運動機能に対するアプローチもやはり市の本気度によって大きく左右される。「本気で市民の健康」に目を向けるのなら国へのアプローチももっと積極的に行い、こちらも新城オリジナルの施策を進めるべきで、その際には公共施設の再編成も念頭に置いた「全体図」をリーダーが指し示すことが重要でしょう。

③ 「大学スポーツで創る持続可能な社会：共創と還元による教育・研究・ビジネス連携モデル」

大阪体育大学とプロスポーツのマネジメントと地域とのかかわりのお話でした。少し私の思っていた内容とは違いましたが参考になりました。ここでいう「教育・研究・ビジネス」は大学と民間企業のつながりを指しています。したがって新城市には直接当てはまりませんが（※大学もプロスポーツもないため）隣の豊橋ではアリーナ建設事業で大きなインパクトがあるお話だと感じております。対岸の火事とせず、こちらも「やろうと思えばできること」ですので、新たなイノベーションを行政から掘り起こしていただきたい。

8/1(金)【展示会視察】

行政出店は主に「合宿地の広報」と「健康食品」が多かったですが、一社だけ「部活動の地域移行に有効なアプリ」を開発導入している企業に目が留まりました。民間企業が部活動と同レベルの行政サービスを担保するためには中身はもちろん「運営の簡素化」が求められます。テクノロジーに寄り添った施策はこの時代では必須となります。現在民間の方と新城の部活動の受け皿が作れないかと模索中ですので、そちらにしっかり持ち帰り戦略を練っていきます。

総評

「部活動の地域移行」「公共施設の再編成」「それに伴うインフラの整備」は初当選以降切れ目なく取り組んできました。その中でこういった民間のための展示会の中に行政がどんどん参加してきています。新城市もまずはその目で見えること。そしてやってみることをチャレンジしていかないと今までと変わらないでしょう。今回の研修参加のキーポイントなる点は一般質問で確実に市に届け、具体的な取り組みに移っていけるように尽力してまいります。

招待券

来場登録で入場無料

●招待券だけではご入場できません。必ず公式ホームページにて来場登録をお願いいたします。
●商談、イベント参加を目的としない一般、見学の方は入場料2,000円をいただきます。

パフォーマンスを高める世界のスポーツ機器・用品・サービスが一堂に

SPORTEC 2025

日本最大の国際スポーツ・健康産業専門展

2025年7月30日(水)～8月1日(金) 10:00～17:00

東京ビッグサイト 東展示棟 4～6 ホール

主催：SPORTEC実行委員会 / 公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

展示会運営事務局 TEL：03-6273-0403 E-mail：visitor@tso-int.co.jp

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-2-1 フロントプレイス四谷7階

当社が貴殿をご招待いたします。ご来場を心よりお待ちしております。

TSO International株式会社

展示会・セミナー・イベントの最新情報はHPへ：<https://sports-st.com/>

スポーツ、健康産業に関する550社*が世界中から集結。
日本最大のスポーツ・健康産業の専門展示会として盛大に開催!

※予定

本展は完全登録制となります。
入場には事前に来場登録が必要です。

来場登録の方法

来場案内ページ



<https://sports-st.com/visitors/>

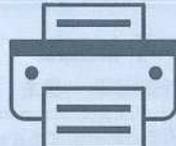
1

左記のQRコードから公式ホームページにアクセス。事前登録ページへ進み来場者情報を入力後、アンケートに回答。マイページを作成。



2

マイページに表示される入場バジをA4サイズで印刷(カラー印刷)。もしくは「入場バジ引換用QRコード」をスマートフォンなどに保存。



3

当日、印刷した入場バジをホルダーに入れて入場。または、スマートフォンなどに保存したQRコードをバジ印刷カウンターに提示して入場バジと引き換え。



- 来場登録を行い、事前に印刷した入場バジをお持ちいただくと、当日入場料2,000円のところ無料にてご入場いただけます。
- 本展はビジネス商談会です。商談、購買、イベント・セミナー参加を目的としない一般の方は、ご入場をお断りすることもございます。
- ご登録いただきましたお客様の情報は、本展示会の運営をはじめ各種情報のご提供、アンケートのご依頼ならびに展示会運営事務局からのコンタクトなどに利用させていただきます場合がございます。
- 出展社への営業活動や、商談の妨げになる活動は一切禁じます。

会場へのアクセス

鉄道

- ・りんかい線
国際展示場駅より 徒歩約8分
- ・ゆりかもめ
東京ビッグサイト駅より 徒歩約4分

シャトルバス

- ・羽田空港より約25分

自動車

- ・都心方面から首都高速11号
台場線 台場より約5分
- ・千葉・葛西方面から首都高速湾岸線
有明より約5分
首都高速10号晴海線
豊洲より約5分
- ・横浜・羽田方面から首都高速湾岸線 臨海副都心より約5分
首都高速10号晴海線
豊洲より約5分
- ・駐車場については直接東京ビッグサイトのHPをご確認ください。



斉藤竜也議員研修行程表

10月29日	10月30日	10月31日
<p>13:42 新城発 飯田線</p> <p>14:39 豊橋発 新幹線こだま725号</p> <p>15:10 名古屋発 新幹線のぞみ37号</p> <p>17:24 岡山発 JR特急スーパーいなば9号</p> <p>19:18 鳥取着</p> <p>ホテルチエックイン 鳥取グリーンリッチホテル</p>	<p>11:00 全国過疎問題シンポジウム参加 ※内容は資料を参照ください</p> <p>17:00 閉会</p> <p>18:00 交流会</p> <p>鳥取グリーンリッチホテル (2泊目)</p>	<p>8:00 シンポジウム分科会現地視察</p> <p>16:30 終了解散</p> <p>【帰路】</p> <p>16:55 鳥取発 JR特急スーパーはくと14号</p> <p>19:11 姫路発 新幹線ひかり552号</p> <p>21:11 豊橋発 飯田線</p> <p>21:48 新城着</p>

【参加研修】全国過疎問題シンポジウム 2025in とっとり

【参加目的】過疎債の利活用、過疎地域の地域活動や交付金事業を含めた振興策の学習

【日程】

10/29(水) 現地入り

10/30(木) 全国過疎問題シンポジウム 全体会 交流会

10/31(金) 分科会 ※第3分科会 A コース

10/30(木)

開始前…展示ブースの見学

鳥取県内過疎地域の各市町村の取り組みなどを調査。担当者からの説明を確認。地場産物の加工販売や観光などにおいては新城市よりも大きく先を進んでいる印象。どの分野も明朗快活なPRと間違いない武器を選定して交流人口を増やしていく施策が必要と感じた。

【全体会】

① 13:00~14:00 式典

② 14:05~

基調講演 「次世代につなぐ人づくりとエコシステム」

講師 中塚 雅也氏 (神戸大学大学院農学研究科 教授)

所感 現在作手で事業化を目指している「つくでヴィレッジ」においてもチーム作りの中で同じ課題を感じた。エコシステムは自然と作られることもあるが、内部の組織(チーム)づくりや個人の成長などはもう少しロジックをまとめる必要がある。

③ 15:10~

パネルディスカッション

「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと ~自然・人・活力とともに~」

コーディネーター 筒井 一伸氏 (鳥取大学地域学部教授)

【パネリスト】

村尾 朋子氏 (鳥取県智頭町: ゲストハウス「明日の家」オーナー)

西山 恵氏 (鳥取県大山町: 大山公民館大山分館公民館主事)

工藤 志保氏 (山形県酒田市: 日向コミュニティ振興会事務局長)

矢嶋 澄香氏 (山梨県丹波山村: 丹波山村総務課副主査)

所感 毎回時間の関係で各パネリストの発言時間は短いいためその後の交流会でのコミュニケーション

が必要。事業化がうまくいって自走できているパターンの中で「ビジネス」として個人がやり切っていくモデルとしていいなと思いました。「持続性」を課題とするパターンが多くあり、私たちも同じ課題を抱えています。しかししたらそんなに考えすぎなくてもいいかもしれないと感じました。パネリストの方たちはそこも目指していましたが、根底で「自分が楽しめる」があるため「今が強い」につながるのだと思いました。

10/31(金)【分科会】

第3分科会 三朝町・湯梨浜町

- ・三徳山遥拝所(日本遺産による官民連携)
- ・(交流・関係人口創出など) ※過疎債活用
- ・松崎地区(三八市、地域活性化団体等紹介)
- ・多世代交流センターゆるりん館…荒天と時間の関係で実施無し
- ・さくら工芸品工房(廃校舎を活用した文化拠点施設紹介)

三朝温泉街

温泉街などは財源の確保ができてい上に、町民と参入企業などやる気に満ちている。一致団結して地元の温泉街を盛り上げるさまがとてもよく、湯谷温泉も参考にすべき

松崎地区(三八市、地域活性化団体等紹介)

移住者と現住の方たちとの連携が作り上げた三八市が盛り上がっていましたが、こちらは今後の継続が疑問でした。商店街はリノベーションできていますが、古い状態を残すのか新しくするのははっきりすべきなんだと感じました。シャッター商店街を盛り上げるという意味では軽トラ市のほうが元気でした。

さくら工芸品工房(廃校舎を活用した文化拠点施設紹介)

まだまだ手を付け始めたところということでしたが、地域おこし協力隊以外はそこそこ経年している。もともとアート系での誘致だったのがいつのまにかカフェなどに変化。ただし、そこで集客している。地域おこし協力隊の業務範囲が明確でやりやすそうでした。

【全体所感】

毎回参加している過疎問題シンポジウムですが、徐々に活動団体の体力低下が気になります。つまりは高齢化ということもあると思いますが、人口減少を嘆いている世代からはネガティブな声が出てきて「じゃあやりましょう」という感じで動いているので、活動自体にクリエイティブな要素が少ないと感じました。

これから過疎地域の問題解決策は新たなフェーズに入っていて、

- ・人口減少、少子高齢化、過疎化、雇用減少

などネガティブなワードで進めるのではなく「そこにいる(ある)いきがいやりがい」などが最も重要でそうでなくては若い世代はわざわざ「本気の町おこし」はしないと思う。これから民間側のポジションに立つので「やる側」として、新都市の利益につなげていきたい。

全国

過疎問題

シンポジウム 2025 in とっとり

世代を超えて安心して
住み続けられるふるさと
自然・人・活力とともに

開催
日程

令和7年
10/30^木 31^金

[開催地] 鳥取市、智頭町、
三朝町・湯梨浜町、
大山町



30^木
全体会

会場／とりぎん文化会館梨花ホール

- ◆令和7年度過疎地域持続的発展優良事例表彰式
- ◆基調講演 講師 中塚 雅也氏 (神戸大学大学院農学研究科 教授)
「次世代につなぐ人づくりとエコシステム」
- ◆パネルディスカッション
「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと
～自然・人・活力とともに～」

交流会 会場／ホテルニューオータニ鳥取

31^金
分科会

- 第1分科会 過疎地域持続的発展優良事例発表会
現地視察
智頭町
- 第2分科会 過疎地域持続的発展優良事例発表会
現地視察
大山町
- 第3分科会 現地視察
三朝町
湯梨浜町

主催 総務省、全国過疎問題シンポジウム実行委員会(鳥取県、一般社団法人全国過疎地域連盟、鳥取県地域振興対策協議会)
後援 農林水産省、国土交通省、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省、全国知事会、全国都道府県議会連合会、全国市長会、全国市議会連合会、全国町村会、全国町村議会連合会、全国山村振興連盟、一般財団法人地域活性化センター、鳥取県市長会、鳥取県市議会連合会、鳥取県町村会、鳥取県町村議会連合会、公益財団法人鳥取県市町村振興協会、読売新聞社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、産経新聞社、共同通信社鳥取支局、毎日新聞社鳥取支局、朝日新聞社鳥取支局、中国新聞社鳥取支局、山陰中央新報社、新日本海新聞社、NHK鳥取放送局、日本海テレビ、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、一般社団法人鳥取県ケーブルテレビ協議会、テレビ朝日鳥取支局、エフエム山陰(予定)

領収書

新城市議会議員 齊藤竜也 様

発行日 2025年10月30日
領収書番号(受付番号) 189

領収金額 ¥8,000

但し、全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり 参加費として
上記、領収致しました。

〒680-8572
鳥取市田園町4丁目360番地
日本海テレビジョン放送株式会社
代表取締役社長 小松 良徳
TEL 0857-27-2136
登録番号 T9270001000567

日付	摘要	数量	単価(税込)	金額(税込)
2025年10月30日	交流会	1	6,000	6,000
2025年10月31日	【終日】第3分科会「三朝町・湯梨浜町」[A]	1	2,000	2,000

全国過疎問題シンポジウム
2025 in とっとり